

「誰か」ではなく「自分」から  
みんなで実践!

仕事 育児 家庭

両立しやすい職場づくり



お仕事しているパパ・ママを見学!

実施しました

## 子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。

### 秋田県信用組合【秋田市】

業種:金融業 従業員数:131名 <https://www.akita-kenshin.jp/>



同組合は、秋田市・県北などに15店舗を展開する協同組織金融機関で、地域の中小企業や住民にとって、身近で頼りになる「けんしん」として信頼を集めています。また、地域資源の特産化など幅広い地域貢献活動により、高い評価を受けています。

「働きがいのある職場創造」は経営理念のひとつになっており、業務の効率化をすすめて時間外労働の削減や有休取得率向上に取り組んでいます。産・育休取得率は100%、子の看護休暇を有給で取得できるほか、春のゴールデンウィークや秋のシルバーウィーク前後を利用した長期の有休取得なども推奨。プライベートや家族の時間を尊重し、女性だけでなく男性も育児に参加しやすい環境を整えています。

#### 当日のスケジュール

- 8:45 朝礼参加
- 8:55 職場での名刺交換、開店前作業の見学
- 9:00 お仕事見学 仕事内容・機器の説明  
預金(入出金)、記帳体験
- 10:40 勉強会「金融機関の役割」

## 見学内容

### 【参加者／幼児1名・小学生1名】

参観日は4年ほど前から実施。地域を支える親の仕事に触れ、理解を深めるきっかけづくりや職場のモチベーションアップの機会として定着してきました。

土崎支店で開催された参観日では、子どもたちも従業員と一緒に出勤。朝礼で紹介を受けたあと、用意されていた名刺を交換して挨拶しました。名刺の受渡方法などを教えてもらいながらやりとりすると大人になった気分です。その後、各部署の仕事や細かい仕組みを教えてもらいながら店内を見学。最初は緊張していたものの、アツという間に数えられるお札の束、たくさんの現金に子どもたちは目を見張ります。また、自分たちの通帳を使って、預金(入出金)の窓口業務も体験しました。

子どもたちは初めて窓口カウンターの内側に入って、金融という仕事を間近で体験し、さまざまな思いをいただいたようです。



### 保護者から

#### 土崎支店長代理 菅原さん

5歳の長女や11歳の姪に金融の仕事を説明するのは難しいかもしれませんが、でも、どんな職場でどんな仕事をしているか、少しでも感じてもらえればうれしいです。これからも家族の理解、職場内でのコミュニケーションを深めながら、家庭や子育てと仕事のバランスアップを図りたいですね。

### 職場から

#### 土崎支店 安保支店長

職場全体で業務・行動・時間管理をすすめながら、育児・家庭との両立支援に取り組んでいます。そのためには、お互い快くフォローし合える職場の協力体制も欠かせません。参観日は、家族の理解を深めたり、お互いを尊重し合える職場の雰囲気醸成するきっかけになります。こうした取組が、従業員のモチベーションアップにつながって業務にも反映されることで、さらに活躍してほしいですね。

